

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33006

実態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇札幌市の共通指標から振り返りや目標意識、計画、粘り強さなど自己調整に関わる項目に関して8割近い肯定的回答が見られた。これらは前年度以前から取り組んでいる、見通しをもって学習に取り組むことを重点として取り組んできた成果と言える。 ◇「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すこと」や「学習で困っている友達に声をかけたり一緒に考えたりするようにしている。」で過去3年間と比べて10ポイント近く伸びており、生徒間で互いに協力しながら考えたり、より良い作品づくりに向けた場面が増えたことで、その佳さを実感しつつあることが考えられる。	◇「自分の意見を進んで発言しようとしている。」が63.5%と過去3年間に比べて10%以上伸びているものの、「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している。」で61.5%や、「自分で計画を立てて勉強している。」で55.2%など、自己調整に関わる項目についても約6割前後であり、依然として考えを発表したり、学習の見通しをもって主体的に学習に取り組む点で課題が見られる。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇札幌市の共通指標において「自分にはよいところがある。」や「自分が必要とされていると感じる。」など自己肯定感、自己有用感に関わる項目において過去3年間と比較しても向上している傾向が見られる。一方で、「自分が必要とされていると感じる。」また、「自分の意見を進んで発言しようとしている。」については前年度比で約10%ほど肯定的な回答が伸びているものの、どちらもまだ7割程度にとどまっていることから、安心してその場にいられる、自分の発言が大切にされていると実感できることが課題である。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「主体的、対話的で深い学びを推進し、自ら課題を解決しようとする」資質・能力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	◇主体的・対話的で深い学びを推進し、「わかる・できる・楽しい」を感じることのできる授業づくり、生徒が伸びを実感できる指導と評価の一体化を目指す。 ◇「学び合い」を取り入れ、安心して学べる学習環境づくりに努める。 ◇課題解決的な学習など生徒が主体的に学習に取り組み、学習活動の充実を目指す。 ◇何を学ぶのかということや、どんなことを目標として学習に取り組むのか「見通し」をもたせ、1日の時間の使い方など自分で計画を立てて学習に取り組めるようにする。 ◇学習に困り感をもった個々の生徒へ粘り強く対応する。 ◇将来の社会的職業的基盤になるようなキャリア教育を推進する。	◇学校祭や体育祭での主体的な活動の充実を目指す。活動の成果を交流し、次に向けた修正や改善によって、よりよい活動にブラッシュアップしていく。 ◇生徒会が中心となり、パートナー校である明園小学校の児童会との連携を模索する。ボランティア活動を企画し、共に活動する機会を作っていく。
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
	◇旅行的行事や総合的な学習の時間で、課題を探究する過程で学んだことをまとめたり、発表する機会を充実させる。 ◇教科の授業の中で調べ学習をして学びを深めたり、実技教科では自分の発表を録画したものをより良い作品づくりに活用させる。	

<本プログラムの実行に向けて>

